２　章　　樋門・樋管

2.1　軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管

2章　樋門･樋管

2．1　軟弱地盤上における柔構造樋門･樋管

1．適用

軟弱地盤上の河川堤防内に設置するＰＣプレキャスト構造の樋門・樋管に適用する。
但し、特殊な構造の樋管や函体の沈下を許容することが困難な樋管等については適用しない。

2．数量算出項目

プレキャストブロック数、目地の箇所数、ＰＣケーブル組立、グラウト注入延長を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分／項目	3次元モデル	属性情報			
		規格	単位	数量	備考
プレキャストブロック	A	○	ブロック		
目地	B	○	箇所		
PCケーブル組立	B	○	式		
グラウト	B	×	m		シース延長

「プレキャストブロック」は、3 次元モデルより必要ブロック数をカウントし、属性情報より規格を区分することより「A」を適用する。
「目地」は、簡易な形状（点、線、面）を用いて位置と箇所数を算出し、属性情報を用いて規格を区分することより「B」を適用する。
「ＰＣケーブル組立」は、簡易な形状（点、線、面）を用いて位置とＰＣケーブル延長等を算出し、属性情報を用いて規格を区分することより「B」を適用する。
「グラウト」は、簡易な形状（点、線、面）を用いて位置と延長を算出することより「B」を適用する。

（2）規格区分
目地の箇所数を目地の材質によって区分して算出する。

目地材質 ── 無収縮モルタル
　　└ ゴム

無収縮モルタルの使用量は１ﾌﾞﾛｯｸ当り０．０６m^3とする。

区分／項目	3次元モデル	属性情報			
		規格	単位	数量	備考
PCケーブル	B	○	kg		ロス率 5%
シース	B	○	m		ロス率 6%
定着装置	B	○	個		
PCケーブル組立	B	×	ｹｰﾌﾞﾙ		

3 次元モデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする
ケーブル延長は定着装置内面間の実延長とし、シースは実長より算出する。なお、ロス率は含まない数量とする。